

子どもの非認知能力育成に向けた効果的な支援のための手引書について

非認知能力の育成を市町村が主体的に実施するため、モデル実施等の市町村での取組事例を基に、場面に応じた保護者への効果的な伝え方などをまとめた「手引書」を作成

1. 対象：

- 市町村 → 効果的な取組みを示すことにより、各自治体で取組みやすくする
- 支援者 → 効果的な保護者への伝え方を示すことにより、具体的な支援につなげる

2. 手引書の内容（例）

- ①いつ （適切な時期、時間）
- ②どこで （適切な場の確保）
- ③誰が （講師等、伝える人材）
- ④誰に （どのような家庭の状況の対象者）
- ⑤何を （伝える内容）
- ⑥どのように （要点を伝えるシナリオ）

3. 協議題

「今後の取組みの推進に向けて ～手引書に盛り込むべき項目、内容について～」

保護者に、非認知能力の大切さや子どもとの関わり方を伝える際に、どのような内容があれば、役に立つものになるか。